

ボラレン ニュース

平成24年度第3号 発行者 掛川市ボランティア連絡協議会 会長 大石鐘邁 発行日 平成25年3月28日

本部

2月10(土) 静岡県ボランティア研究集会

「だから無理」より「じゃあどうする」の方がおもしろい!



基調講演の講師

弁護士 ^{おおこだ} 大胡田 誠 氏

「第35回静岡県ボランティア研究集会」が2月10日(土) 富士市ロゼシアターにて開催されました。午前中の基調講演では、全国で3人目の盲人の弁護士・大胡田誠氏による講話があり、小学6年生で視力を失った大胡田さんは、目が見えないことで苦労した話や弁護士になるまでの並々ならぬ努力を重ねたこと、まわりの人たちのあたたかい声や支援の手にありがたさを感じたことなどをお話しされました。お話の最後の方では「数々の困難を乗り越えていく中で、障がいを持っているからと言って無理と考えるのではなく、次にどうしていくかを考えていくことの方が人生は面白い」という言葉があり、全てを前向きに捉え、乗り越えていこうとする大胡田さんの姿勢に会場からはたくさんの拍手が送られました。(掛川からの参加者21名)

参加者の感想

ボランティア研究集会に2月10日に行かせて頂きました。基調講演で大胡田さんの話を聞きました。全盲で弁護士をやっていることはすごいと思いました。どうやっているのだろうと不思議でした。

IT機器や周りの人に助けられながらやっていると聞き、なるほどと感心させられました。午後は映画「普通に生きる」を見ました。私も含めて障害者が普通に生きる難しさ、親の願い、心に痛いほど伝わりました。福祉問題色々ありますが、現在ある福祉サービスだけでは十分に普通に生きる事に不安があると思います。こんなサービスをほしいとみんなで声を上げる事が必要とあらためて考えさせられました。



車椅子友の会掛川支部 鈴木貴裕

本部

3月8日（金）御前崎市ボランティア連絡協議会との交流研修会

掛川市と御前崎市のボランティア連絡協議会交流研修会を開催しました。はじめに両会から1団体ずつ活動紹介をし、御前崎からは「ピノキオ」のみなさんによる「いもじいさん」のよみきかせ。掛川からは「はつらつサロン」の遊びリテーションが行われました。その後、「ふれあい広場にもっと障がいのある方が参加しやすくするには」をテーマにグループワークを行い、様々な意見が出されました。お隣の市ということもあり、終始和やかな雰囲気、交流を通じ親睦を深めました。

（掛川からの参加者20名）



「ピノキオ」さんによるよみきかせ。生演奏のBGMも付き、迫力満点でした。



御前崎市V連・石井恵会長

「はつらつサロン」の遊びリテーション。石井会長さんも特別参加。息ピッタリの掛け合いでとても楽しくできました。



掛川支部

3月9日（土）ふれあいレクリエーション交流会



掛川支部活動では、3月9日（土）ふれあい交流会を行いました。当日は掛川市体育協会の方に「ボッチャ」という競技をご指導いただきました。その他、ラージボール卓球、輪投げ、スカットボールも各々のグループに分かれ、得点を競い楽しい時間をすごすことができました。多くの方にご参加いただきました。ありがとうございました。



大東支部

1月27日（日）大東児童館 雪まつり（大鍋による豚汁作り）

大東支部恒例となりました「大鍋による豚汁作り」を1月27日（日）の大東児童館雪まつりにて行いました。前日26日（土）に買出しと食材の仕込みを行い、当日27日（日）に豚汁を作り、約230杯を販売しました。仕込みには、大根、こんにゃく、ごぼう、白菜、豆腐、人参、ねぎ、里芋、肉と地元で採れた食材を使用。手馴れたもので8人で2時間程で仕込みを終えることができました。

当日は、直径約1mの大鍋を使い、お湯を沸かし、前日仕込んだ食材を入れ中火で煮ること約1時間、そしてダシと味噌を入れ20分程で完成。

寒い中を販売前から並んで待っていた方々に販売を行い、2時間で約230杯を売り上げ完売しました。売り上げの11,350円は東日本大震災向けに全額寄付させていただきました。

今年度は、5月12日（土）子どもフェスタバルーン作り 6,691円

10月28日（日）大東交流センター バザー 34,916円と

合わせて、52,957円を東日本大震災向けに寄付することができました。ご協力ありがとうございました。



大須賀支部

2月3日（日）遠州横須賀風揚げまつり



みんな おいで～
おいし～い おしるこだよ～

ピューピューと遠州のからっ風が吹く中、遠州横須賀風揚げ祭りが開催され、恒例となりました、おしるこの無料サービスで今年も参加しました。私たちのお手製おしるこは、お子さんから大人までみんなに喜ばれ、ほんの少しですが、盛り上げにお役に立てたのではないかと感じています。にぎやか、みんなで同じことに取り組むのもボランティアの醍醐味だと思います。

※おしるこサービスとは別に募金活動を行い、7,894円が集まりました。社会福祉協議会を通じ赤い羽根共同募金に寄付いたしました。



団体活動紹介

団体名横の括弧書きは定例会の開催日時です。見学・体験等をされたい場合はボランティアセンターを通じて調整いたします。(TEL 22-1294)

車椅子友の会掛川支部 (毎月第3日曜 13:30～ たまり～な)

障害者の社会参加と、市民とのふれあいを目的に活動をしています。福祉問題のこと話しています。それ以外も、バーベキュー大会、映画を観に行ったり私たち障害者一人では出来ない事も健常者の皆さんと一緒に楽しんでいます。皆さんも私たちと一緒に活動してみませんか？基本的には月1回第3日曜日にたまり～なで行っています。



手話サークル太陽の会 掛川夜例会 (毎週木曜 19:30～21:00 生涯学習センター)

掛川夜サークルは昭和51年に設立し、現在ろうあ者6名、健聴者20名の26名で活動しています。場所は掛川市生涯学習センター担い手の部屋1と2で、毎週木曜日に開催しています。手話の学習やレクリエーションをしながら、

ろうあ者と健聴者相互の交流と理解を深め、その中で自然に手話ができるようになっていく環境作りをしています。

そのため、このサークルは、手話が全くできない初心者でも安心して入会でき、通っているうちにだんだんとできるようになっていきます。まずは、サークルの見学からされてみてはいかがでしょうか？ぜひ、お待ちしております！



収集物整理ボランティア「金の砂」(毎週火曜 10:00～15:00 総合福祉センター)

地域から寄せられた古切手、ベルマーク、書き損じはがき、カード類などの収集物を整理するサークルです。古切手やカード類は換金し、社会福祉協議会を通じ、社会福祉事業に活用されています。また、ベルマークは収集物の中でも、特別な思いをもって整理にあたっています。ベルマークの発行をしているベルマーク財団では、東日本大震災においては速やかな支援の手を差しのべたり、海外の途上の急激な社会変化にさらされる立場の弱い子供たちにも教育・健康などで貢献し、国際支援事業を展開するなど、社会に力を尽くして良い結果をもたらしています。これは皆さんの小さな力の後押しがあるからこそその証です。

長年の活動の中で、ある程度、集計点数の予測もつくようになり、毎年、点数が伸び悩んでいること、数字を伸ばすための呼びかけも効果があがらない現状に残念な思いも感じています。会員の高齢化も進んでいますが、私達にとって収集物への一喜一憂が、活動の源泉と思います。

